



Title	Depressive Symptoms in Chinese Factory Workers in Nagasaki, Japan
Author(s)	伊達, 豊
Citation	(2009-03-19)
Issue Date	2009-03-19
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/24728">http://hdl.handle.net/10069/24728</a>
Right	

This document is downloaded at: 2020-10-27T21:25:53Z

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 262 号	氏名	伊達 豊
学位審査委員	主査 近藤 宇史 副査 篠原 一之 副査 大園 恵幸		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、近年増加傾向にある中国人労働者の抑うつ症状とその関連要因を見出そうとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 常時 50 人以上を雇用する事業所で、直接雇用された中国人労働者に自記式質問票調査を行い、標本選択バイアス、不完全回答などを考慮しつつ、種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、一日労働時間と抑うつ症状に関連が見られること、高年齢群（30-49 歳）は低年齢群（19-29 歳）に比べて、抑うつ症状に関して十分留意すべきことを明らかにし、今後の外国人労働者の健康管理対策研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は外国人労働者に関する産業医学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			